

令和5年度 岩船地区区長会要望事項

1 岩船地域コミュニティセンターの耐震化について

岩船地域コミュニティセンターは、昭和51年に岩船地区の公民館として設置され、以後岩船支所、岩船連絡所としての歴史を経て、地域活動やまちづくりの拠点となっている重要な施設ですが、耐震化が図られないまま建築から47年が経過し老朽化が進んでいます。

令和3年度に村上市指定緊急避難場所等指定方針の策定及び指定緊急避難場所等の見直しがおこなわれましたが、岩船地域コミュニティセンターは耐震性が無いため、指定緊急避難場所・指定避難所とも指定取消しになりました。これにより岩船地区の指定避難所は岩船中学校一か所となり、収容人数も見直され、地区住民の6%にも満たない収容状況であります。

岩船地区は海岸線に近く、地震、津波が発生した場合、甚大な被害を受ける危険性があります。このままでは岩船地区住民約3,600人の避難所としては到底不十分であり、安心して暮らすこともままなりません。

災害発生時に住民の命を守ることは最優先の課題であります。

つきましては、今年度を実施される耐震診断の結果を受け、速やかに岩船地域コミュニティセンターの耐震化を図り、避難所を兼ねた防災センターとしての活用を要望します。

【回答】

岩船地域コミュニティセンターにつきましては、岩船地区の地域コミュニティの拠点施設であると認識しております。現在、当該施設の耐震診断を実施しておりますので、その結果を踏まえて施設の今後の在り方について検討してまいりたいと考えております。

また、近隣の新潟りハビリテーション大学の避難所指定等について、同大学と協定締結に向けて協議しており、収容率の向上に努めて参ります。

(問合せ先：総務課、市民課)

2 市道岩船田中線の拡幅改修について

市道岩船田中線は、臨港道路との交差点付近の道路幅が狭く、車のすれ違いや右左折に難渋しています。

特に臨港道路からの侵入はガードレールに接触する危険性が高い状況にあります。

また、近年隣接地に住宅も増え、交通量も多くなっており、安全確保のためにも、これまでに行ってきた用地関係者への調査結果を踏まえ、事業実施に向けた具体的なスケジュールを明示していただき、早急に拡幅工事を行うよう要望します。

【回答】

ご要望の箇所につきましては、現在、土地所有者へ拡幅工事のご協力をお願いしており、同意を得るため、課題の整理を進めている状況です。現時点では同意が得られていないことから、事業実施に向けた具体的なスケジュールをお示しすることはできませんが、引き続き土地所有者と話し合いをさせていただき、同意が得られるよう取り組みを進めてまいります。

(問合せ先：建設課)